

企業真理実相（知的資産分析による価値創造メカニズムの解明）

<エグゼクティブ・サマリー>

【提供価値の核心】「相対評価の罠」から抜け出し、適正な時価総額を実現する

昨今、多くの IR 支援会社や有識者が「非財務資本」や「ESG」を語りますが、CP&X 株式会社（以下、CP&X）は、それらのように指標をチェックリスト化して画一的な統合報告書を作る機関ではありません。貴社が抱える「投資家との情報の非対称性」を打ち払い、同業他社との横並びである「相対評価の罠」から解放します。そして、企業の真価を見抜く審美眼と第一線の金融知見を融合させ、貴社固有の「見えざる強み（知的資産）」を、グローバル資本が納得する「適正な時価総額」へと変換することを使命とする専門機関です。

【圧倒的な実績】市場の認知構造を書き換える「水準訂正（リレーティング）」

企業の潜在的な強みを、確かな市場評価へと変換する独自の「価値創造メカニズム」により、市場の認知構造を根本から書き換え、以下のような水準訂正（リレーティング）を実現しています。

- 事例 1：時価総額 10 倍（30 億円→300 億円）への拡大
- 事例 2：8 連続ストップ高による水準訂正
- 事例 3：独自プレミアム評価の定着
- 事例 4：各界トップ層・グローバルネットワークとの戦略的価値共創

一度この深い次元で企業の真価（真の企業価値）を理解した市場は、投資家自身が自発的に独自の価値を探索し始めるため、過去の不当なディスカウント（割安）状態へ回帰するリスクは極小化され、独自の評価基準が定着していきます。

【CP&X の源泉】理論を裏付ける「圧倒的な実務経験と信認のネットワーク」

これら圧倒的な実績は、机上の空論によるものではありません。300 を超える上場企業と対峙してきた神田代表の特異な経歴とネットワークが、企業分析に絶対的な説得力を与えています。

- **本質を見抜く眼力と事業の具現化力：** 武道の源流に連なる血脈で培われた、物事の本質を見抜く「審美眼」。そして、神田代表自身が実業の最前線で事業を創出してきた「現場の実装力」が、表面的なデータや美辞麗句の裏に隠された「真の競争優位性」を的確に抽出します。
- **多層的な公的信認：** 国連や国税の最高首脳、欧州の歴史的門閥との間に長年築かれた強固な信頼関係。このネットワークがもたらす「圧倒的な客観性と誠実性」が、投資家が抱く事業継続への不安や情報リスクを極小化させます。
- **トップ知性との共創：** 多数の海外 IR や国内 IR ロードショーによる資本市場の評価基準を創り上げてきた金融の第一線（トップアナリストやファンドマネージャー等）との知見の共有。これにより、抽出された企業の価値を、グローバル資本が自ずと納得する「市場の共通言語」へと昇華させます。

【価値創造メカニズム】真の企業価値を、確かな財務数値へ変換するプロセス

既存のフレームワークのように、特許数などを機械的に当てはめるものではありません。CP&X は、企業の将来性の源泉となる「見えざる資産（知的資産）」を抽出し、

【9つの波及プロセス】により価値を増幅させ、資本コストの低減や評価倍率（PER 等）の拡大といった具体的な【12の有形財務ドライバー】へと変換します。これが、単なる IR のノウハウではない、高度な金融論理に裏打ちされた唯一無二の「価値創造メカニズム」です。

【ソリューション】抽象的な強みを実務へと着地させる統合的 IR 支援

CP&X は、抽出した強み（知的資産）を以下の実務体系（サービス群）を通じて市場へ統合的に実装します。

- **知的資産分析**： 20 時間に及ぶヒアリングで「見えざる資産（知的資産）」を抽出し、投資家が納得する戦略的なエクイティ・ストーリーへと再構築。
- **アナリストレポート**： 厳格な投資判断基準が明記されたハイレベルなレポートを発行し、市場の評価を能動的に導く。
- **独自 IR プラットフォーム（CP）と IR1on1**： 投資家の理解ロジックに基づいた独自開発したシステムを通じ、市場との持続的な「信頼関係」を確立。

【我々のミッション】 真の企業価値の顕在化と、適正な評価の定着

CP&X の真髄は、これらすべての要素を有機的に結合させ、市場の評価構造を根本から覆すことにあります。貴社に眠る「見えざる強み(知的資産)」を揺るぎない確信へと変え、グローバル資本が認める適正な時価総額として定着させること。これこそが、CP&X が資本市場において貴社のために成し遂げる究極のミッションです。

CP&X 株式会社

代表取締役社長 神田康一